

FACSIMILE EQUIPMENT

Patent Number: JP63119364
Publication date: 1988-05-24
Inventor(s): MATSUMOTO NAOYUKI
Applicant(s): CANON INC
Requested Patent: JP63119364
Application: JP19860265002 19861106
Priority Number(s):
IPC Classification: H04N1/00; H04L13/00;
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To confirm the result of communication quickly without wasting recording paper by providing a means storing history of the result of communication, a display device and a means selecting the history of the result of communication to be displayed.

CONSTITUTION: A line section 1, a read section 2 and a recording section 3 are managed by a control section 4 and a communication history is stored in a history memory 5. The required operation is attained by an operation section 6 and a proper message is displayed on a display section 7. In depressing a communication history display key 11 of the operation section 6, the communication history table mode is attained and the newest communication history information is displayed. In depressing an up-key 13, if the history information displayed at present is not the newest, other new history information is selected and displayed and when a down-key 12 is depressed, if the history information displayed at present is not oldest, other old history information is selected and displayed and when the communication history display key 11 is depressed, the communication history display mode is released.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭63-119364

⑫ Int.CI.*

H 04 N 1/00
H 04 L 13/00
H 04 N 1/00

識別記号

106
313

庁内整理番号

B-7334-5C
7240-5K
C-7334-5C

⑬ 公開 昭和63年(1988)5月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑮ 特願 昭61-265002

⑯ 出願 昭61(1986)11月6日

⑰ 発明者 松本直之 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑱ 出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

⑲ 代理人 弁理士 丸島儀一

明細書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

通信結果の履歴を保存する手段と、前記通信結果を表示する表示器および表示手段と、表示すべき通信結果履歴を選択する手段とを有することを特徴としたファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は、通信履歴管理機能を有するファクシミリ装置に関するものである。

(従来技術)

従来ファクシミリ装置における通信履歴の管理は、記録部へその通信履歴情報を出力させることでまされていった。

ところが、交信がうまく行なえたか否かをいちいち記録紙へ出力させることは出力するまで時間がかかる煩わしい上、無駄に記録紙を消費してしまいがちであるという問題があった。

(目的)

本発明は、ファクシミリ装置の運用上通信結果の確認を行うに際して、特に記録紙へ結果を残す必要のない場合等に、装置上の表示器へその情報を表示させるファクシミリ装置の提供を目的とする。

(実施例)

以下に図面を用いて実施例について述べる。

第1図は本発明のファクシミリ装置のプロック図である。

回線部1、読み取部2、記録部3が制御部4により管理され、通信履歴は履歴メモリ5に蓄積される。必要な操作は操作部6により行なわれ、適宜メッセージが表示部7に表示される。

第2図は操作部6の上面図である。ここでは表示器10が隣接している。更に、通信履歴の表示モードを設定する通信履歴表示キー11、1つ古い通信履歴の表示を選択するダウンキー12、および1つ新しい通信履歴の表示を選択するアップキー13が備えられている。

特開昭63-119364(2)

さて、本発明は、第3図に示すように、履歴メモリ5に蓄積された最新通信履歴情報21から最旧通信履歴情報22までの通信履歴情報の内、1つをダウンキー12、アップキー13によって選択(23)し、表示器10へ表示(24)せるものである。その処理の詳細について、以下に第4図を用いて述べる。

まず通信履歴表示キー11を押下する(31)ことにより、通信履歴表示モード32となり、次いで最新通信履歴情報21を表示する(33)。続いて通信履歴表示キー11、ダウンキー12、アップキー13、いずれかのキー押下を待つ(34)。アップキー13が押下されると(35)、現在表示中の履歴情報が最新のものであるか否かを判断し(36)、最新であれば次のキー押下を待ち(34)、最新でなければ1つ新しい履歴情報を選択し表示(37)した後、次のキー押下を待つ(34)。ダウンキー12が押下されると(38)、現在表示中の履歴情報が最旧のものであるか否かを判断し(39)、最

(効 果)

本発明によれば、通信結果の確認がスピーディにかつ無駄に記録紙を消費しないで行なえるという、ファクシミリ装置運用上、有効な結果を生むことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はファクシミリ装置のブロック図、
第2図は操作部の上面図、

第3図は通信履歴情報表示に関する説明図、
第4図は通信履歴表示処理に関する流れ図である。

図において10は表示器、11は通信履歴表示キー、12はダウンキー、13はアップキー、21は最新通信履歴情報、22は最旧通信履歴情報である。

旧のものであればそのまま次のキー押下を待ち(34)、最旧でなければ、1つ古い履歴情報を選択し表示(40)した後、次のキー押下を待つ(34)。また、通信履歴表示キー11が押下された場合は、通信履歴表示モードが解除される(42)。それ以外のキー入力があった場合は無視され次のキー押下を待つ(34)。

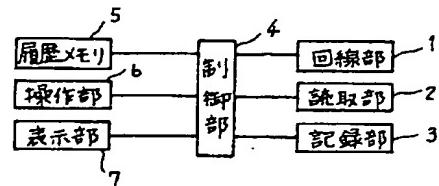
以上通信履歴の選択表示方式について述べてきたが、選択的に印字する機能も同様に考えられよう。

また、表示器の表示能力が許せば、選択的にいくつかの履歴情報を同時に表示させることも可能となろう。

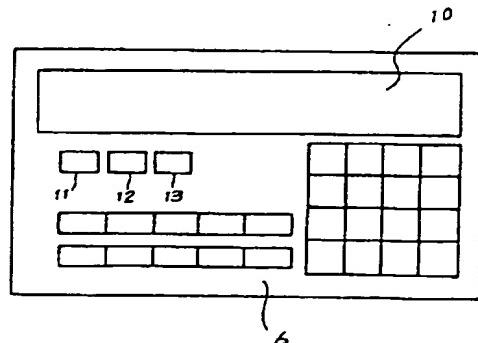
なお、本発明は通信履歴記録機能の有無によらず、ファクシミリ装置に適用される。

更に、本実施例では、履歴情報の選択を新旧別で行なう例を示したが、通信エラーのあったものだけ、その相手先番号とその通信時刻とを表示させるという選択表示もファクシミリ運用上有効な機能として本実施例と同様に考えられる。

第1図



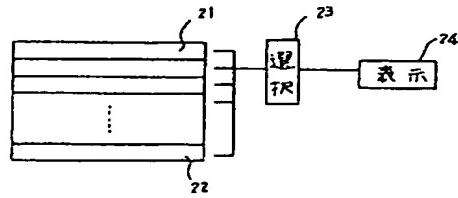
第2図



出願人 キヤノン株式会社

代理人 丸島信一

第3 図



第4 図

